

オンプレミスからクラウドへ： クラウド検討中オンプレミスユーザの疑問に答えます

技術戦略ユニット
ソリューション戦略室
松木 啓輔

自己紹介



名前	松木 啓輔
趣味	裁縫（初心者）、登山（中級者）、孤独飲み（上級者）
担当業務	IBM i のアプリケーション開発を中心としたプリセールスを担当しています。お客様の「できたらいいな」を実現するために、お客様や技術部門、パートナーと連携しながら日々取り組んでいます。
IBM i への思い	IBM i の素晴らしさ、その価値を改めて世の中に伝え、再評価していただけるよう積極的に情報を発信していきます！



名前	横田 佳奈
趣味	映画、登山、刺繡、絵画など・・・多趣味
担当業務	現在、IBM i の構築チームに所属し、日々基盤の構築業務に取り組んでいます。特に IBM i クラウドサービスの構築経験を重ねながら、さらなるスキル向上と高みを目指して挑戦を続けています。
IBM i への思い	これからも先輩方のノウハウを学びながら、この業界で IBM i の構築を担う若手 SE を増やしていきたいと考えています。

NOSはおかげさまで44期

商号	日本オフィス・システム株式会社
本社	〒135-8568 東京都江東区有明3-4-10東京ファッショントウンビル西館 7F/9F
京橋事業所	〒104-0031 東京都中央区京橋2-13-10 京橋MIDビル6F
葛西SC	〒134-0086 東京都江戸川区臨海町3-6-4 ヒューリック葛西臨海ビル7F
設立	1982 (昭和57) 年 10 月 1 日
資本金	1億円
代表取締役社長	渡辺 肇 (わたなべ つよし)
株主	兼松エレクトロニクス株式会社 100%
従業員 (2025年4月1日現在)	単体 : 259名 ※KELグループ連結 1,584名
事業概要	<ul style="list-style-type: none">● 情報サービス事業● システム販売事業
KELグループ	 兼松エレクトロニクス株式会社 (KEL)  ケー・イー・エルテクニカルサービス株式会社 (KTS)  株式会社KEL CRESTIA  ルートリフ株式会社
企業理念	1. お客様第一主義 私たちは、常にお客様の満足度を意識し、信頼ある行動をします。 2. 新しい価値の創造 お客様に真に評価されるシステム・サービスを幅広く提供します。 3. CSRの追求 法令を遵守し、公正で透明性の高い企業活動を行います。

日本オフィス・システム株式会社

〒135-8568 東京都江東区有明3-4-10東京ファッショントウンビル西館 7F/9F

〒104-0031 東京都中央区京橋2-13-10 京橋MIDビル6F

〒134-0086 東京都江戸川区臨海町3-6-4 ヒューリック葛西臨海ビル7F

1982 (昭和57) 年 10 月 1 日

1億円

渡辺 肇 (わたなべ つよし)

兼松エレクトロニクス株式会社 100%

単体 : 259名 ※KELグループ連結 1,584名

- 情報サービス事業
- システム販売事業

KELグループ

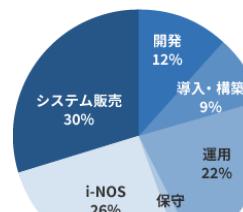
**兼松エレクトロニクス株式会社 (KEL)****ケー・イー・エルテクニカルサービス株式会社 (KTS)****株式会社KEL CRESTIA****ルートリフ株式会社**

企業理念

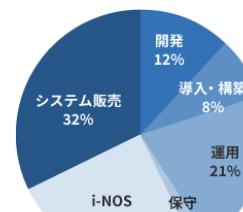
- 1. お客様第一主義** 私たちは、常にお客様の満足度を意識し、信頼ある行動をします。
- 2. 新しい価値の創造** お客様に真に評価されるシステム・サービスを幅広く提供します。
- 3. CSRの追求** 法令を遵守し、公正で透明性の高い企業活動を行います。



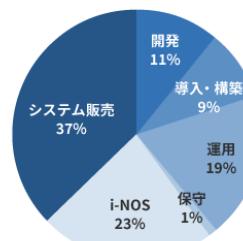
第41期売上構成



第42期売上構成

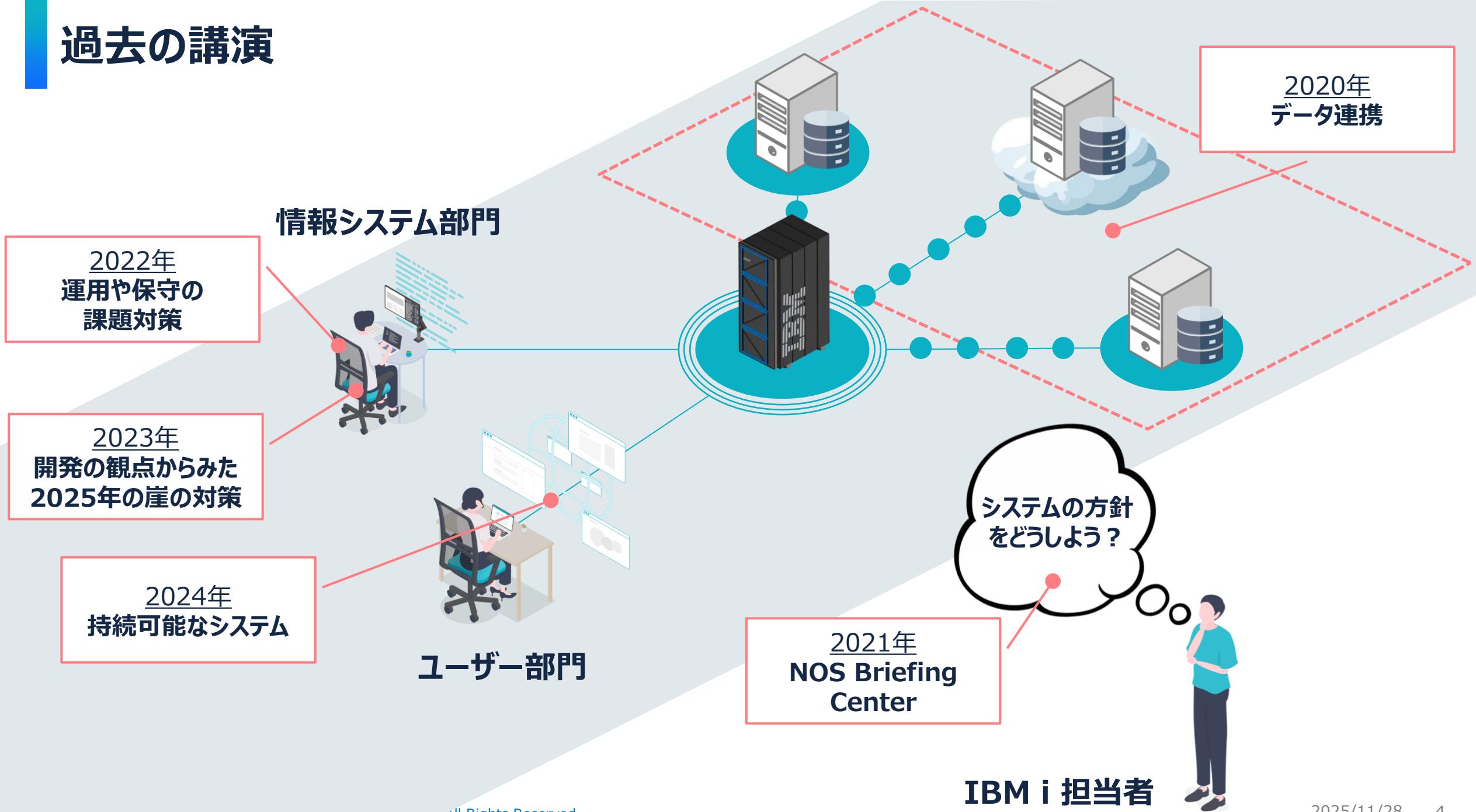


第43期売上構成



セグメント別売上高構成【2022年3月期～2024年3月期】

過去の講演



IBM i ユーザーのクラウドサービスに関する現状

IBM i クラウドサービスの利用状況

71.8%

利用中 : 34.2%

利用計画・予定 : 37.6%

出典：『IBM i ユーザー動向調査2024』（アイマガジン株式会社）

IBM Powerリプレイス時に クラウドサービスを選択肢に入る割合

88.0%

2023年度 : 77.9%

2024年度 : 84.1%

2025年度 : 96.9%

出展：弊社2023年4月～2025年11月の実績

なぜクラウドサービスを検討するユーザーが増えたのか？

iC2をご利用頂いているお客様にiC2を採用した理由をお聞きしました

- システム専任者がいないので、運用をNOSに任せたい。（広告制作業）
- 担当者が高齢化の為、アプリケーション保守と併せてAS/400の運用もアウトソースしたい。（専門学校）
- オンプレミスと比較して5年トータル費用でiC2が安価であった。（医薬品卸業）
- 自社設置環境に不満（音、熱）、BCPも考えクラウドにしたい。（医療製造業）
- 3年後にシステム刷新予定の為、いつでも止められるクラウドを選択。（電線製造業）



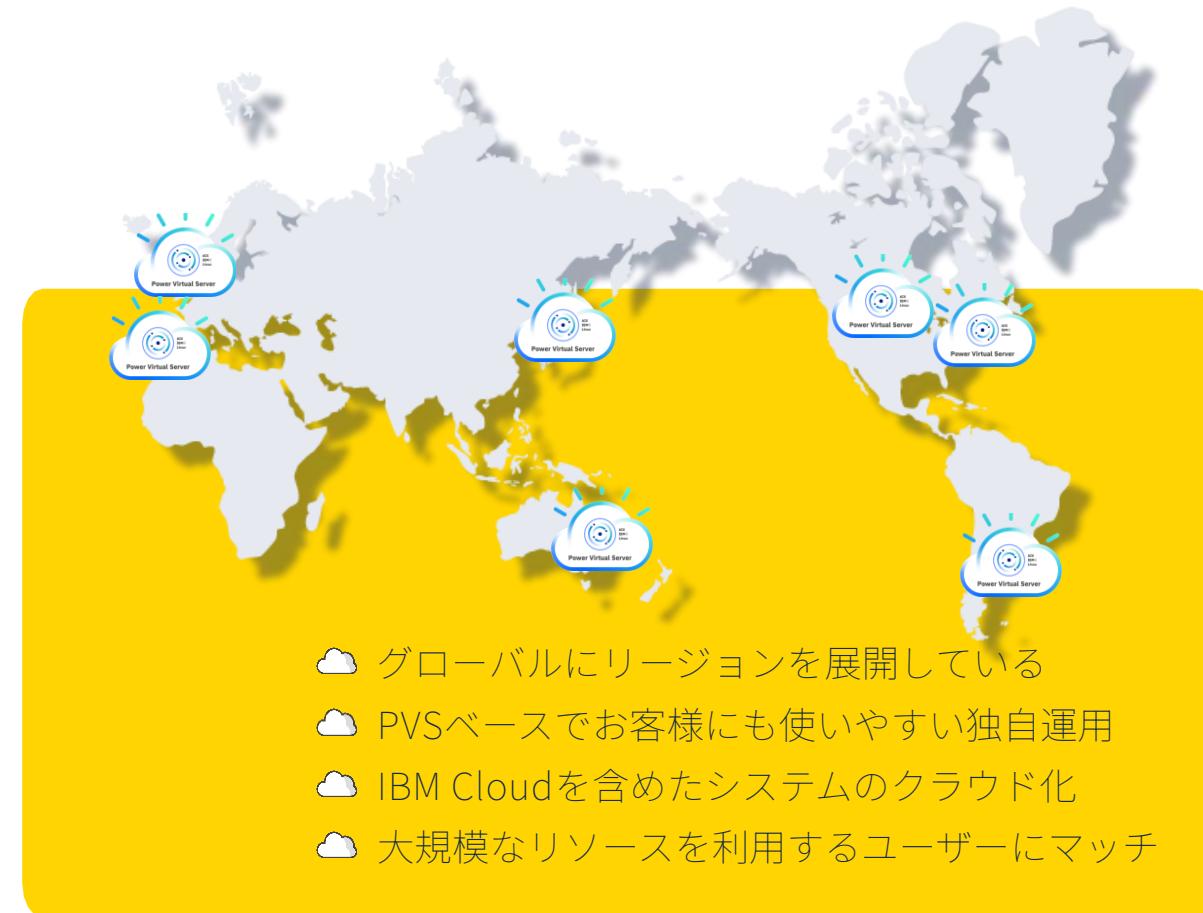
IBM i クラウドサービスへ移行する際の 押さえておくべきポイント

NOSが提供しているIBM i クラウドサービスの紹介

FineCrew[®] クラウド・サービスiC2



IBM Power Virtual Server



よくあるご質問

Q1

自社から IBM i クラウドサービスへは、どのような接続方法がありますか？



- ・インターネットを利用した拠点間 VPN による接続
- ・ご利用中の通信キャリアが提供するクラウド接続サービスの利用
- ・自社拠点の一つとして組み込むプライベートネットワーク接続※1

※1弊社提供クラウドのみ

Q2

自分たちが契約するクラウドサービスのリソースは、どの程度必要になりますか？



現在のシステムで実際にどれだけリソースを使用しているかを調査し、そのデータに基づいて最適なクラウドリソースを見積もることが重要です。既存マシンのスペックをそのまま当てはめるのではなく、パフォーマンス測定及び分析で必要リソースの確認が必須です。

Q3

既存の IBM i で使用している IP アドレスは、クラウド移行後もそのまま利用できますか？



利用するクラウドサービスによりますが、多くの場合、クラウドは別拠点となるため、現行のIP アドレスをそのまま引き継ぐことはできず、原則新しい IP に変更が必要です。長期的には IP 直参照に依存せず、DNS による名前解決を徹底し、移行時や将来のスケーリングに伴う IP 変更の影響を最小化することをおすすめします。

Q4

日々のバックアップ方法は、クラウド移行によりどのように変わりますか？



物理テープの運用はなくなります。クラウドサービスにより、仮想テープ (VTL) 方式または、オンラインでのデータバックアップ機能をご利用いただくことになります。VTL方式の場合は、既存の運用を踏襲することが可能となります。



よくあるご質問

Q5

現在保有している IBM i のライセンスの所有権と SWMA は、クラウド移行後どうなりますか？



オンプレミスで保有している IBM i のライセンス（所有権）と SWMA は、そのままクラウド環境へ持ち込むことはできず、**クラウド事業者が提供するライセンスを利用します**。クラウドサービスの利用料にライセンスおよび保守が含まれて提供されるのが通常です。

Q6

契約する自社區画に最新の PTF を適用する場合の対応はどこが行いますか？



原則として、クラウドサービス提供事業者が対応します。ただし、**クラウドサービスの種類によって、料金に含まれているかどうかは異なります**。そのため、適用範囲やメンテナスウィンドウ、稼働検証、ロールバック方針などを含め、事前に確認と合意することをおすすめします。

Q7

契約中の区画に提供される監視サービスの設定は、変更・カスタマイズできますか？



監視の内容や変更可能範囲はクラウドサービスによって異なります。事前の確認をお勧めします。ちなみに、iC2 の監視サービスはお客様単位でのカスタマイズに対応しております。

Q8

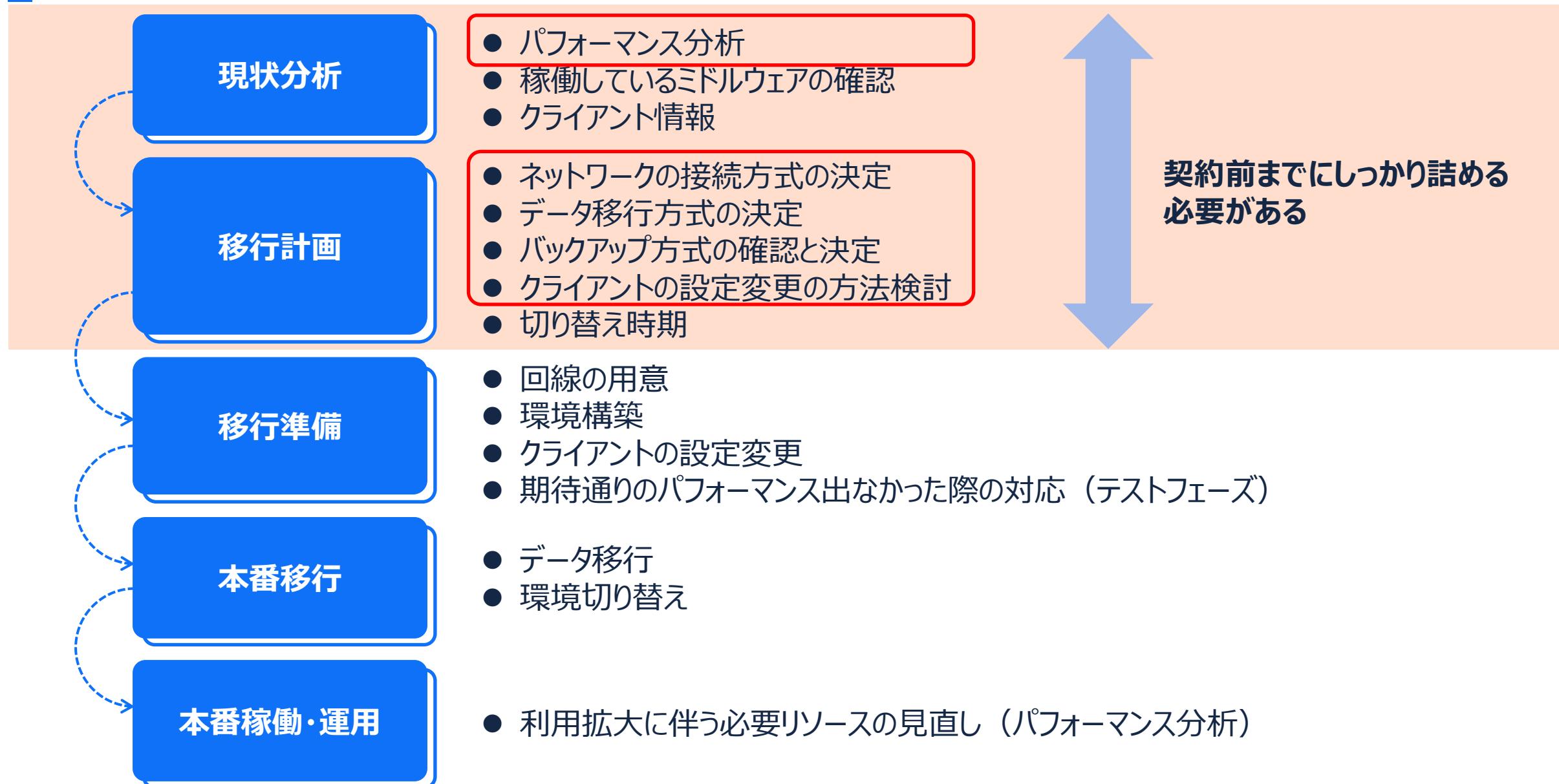
どのクラウドサービスを選べば良いですか？



リソースの使用状況や稼働しているアプリケーションの特徴、ご利用のネットワーク環境など、現在の IBM i の環境や利用状況によって最適なクラウドサービスが変わってきます。重要なことは、**事前にパフォーマンスや利用状況の分析を行うことです**。



クラウド移行のステップ[®]





現行システムの事前分析

- 必要なリソースを算出するためのパフォーマンス分析
- アプリケーション利用状況や稼働状況



クラウドサービスへの接続方法（ネットワーク）の確認と準備

- 回線開通のリードタイムも考慮
- クラウドサービスにより、ネットワークの接続方法が変わる



クライアントの設定変更の対応有無

- IPアドレス直接指定の場合、事前に名前解決の環境へ変更
- PCだけではなく、プリンター側の設定も確認

成功事例

課題/目的

- BCP対策
 - 要員減少に伴う運用負担軽減
 - サーバーの運用・更新コストの削減

效果

- 堅牢なデータセンターに設置してネットワーク構成の見直しによりBCP対策実現
 - 属人化対策と負担軽減
(アプリケーション保守も併せて利用)
 - 3割のコスト削減

IBM i クラウドサービスへ移行するからこそ



IBM i クラウドサービスへ移行する際に
併せて対応しておくことで社内のイメージが劇的に変わります

IBM i に対する印象

- レガシー、古いシステム
- 画面デザインが古い
- 画面がスクロールできない/マウスが使えない
- スマートデバイスで使えない/先進的な機能が使えない

経営層やシステムを使うユーザーの印象

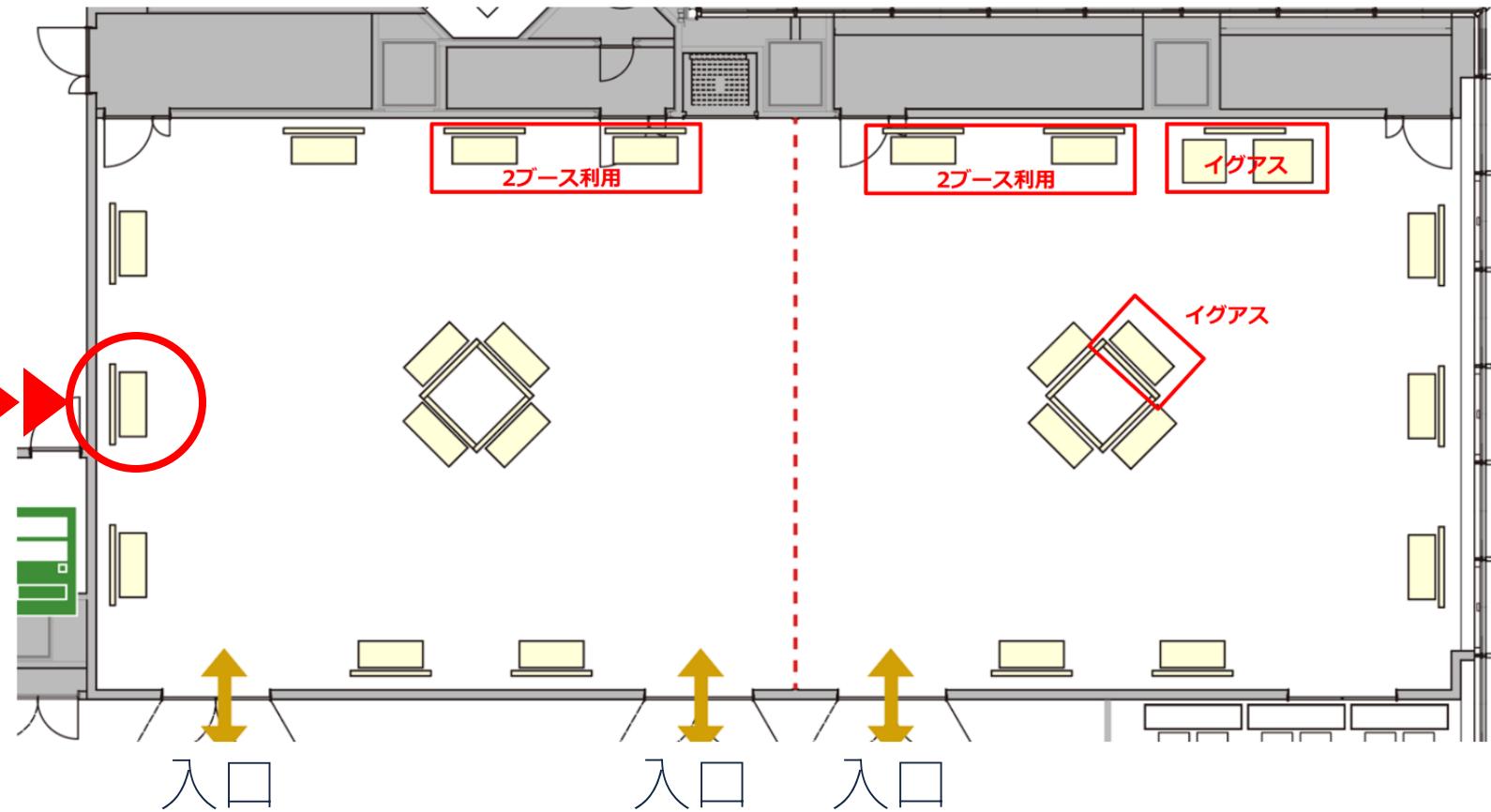
- RPGができる要員が高齢化
- コードの行数が足りない
- ブラックボックス化
- セキュリティが高い
- 自社の業務にあったシステム
- 長年の資産（プログラム）を受け継いでいる



NOSのブースにお越しください！

日本オフィス・システム (NOS)
のブース

IBM i クラウドだけではなく、IBM i
の更なる活用のためのサービスの
ご紹介もしています！



第1会場

第2会場



お客様の
ベストパートナーを目指して
Fine Crew
日本オフィス・システム株式会社

お客様の声とともに進化を続ける
NOSオリジナルサービス

FineCrew®

お客様のニーズや、環境・戦略の変化に対応して、必要な機能をリアルタイムでシステムに追加する。そんな理想をカタチするために2005年にスタートさせたのがNOSオリジナルのサービスブランド「FineCrew」です。（商標登録済）

お客様のITシステムを進化させるFineCrew=優れた乗組員として、目標に向かって確実に航路を判断しながら前進し、お客様からの信頼を得られるよう努力していく精神で、NOSのアイデンティティそのものを目指したものです。

当内容に関するお問い合わせ先

日本オフィス・システム株式会社
ソリューション戦略室
松木 啓輔
TEL: 03-5250-6410
Mail: nosinfo@nos.co.jp

